

岡村精二後援会「新春の集い」

活動報告 東日本大震災から学んだこと 山口県の未来のために



山口県議会議員
岡村精二

みんなの力

ありがとう

喜舟





岡村事務所のツバメ物語









2羽のツバメが、無事
巣立って行きました。





2011.4 宮城県女川町



ビルの屋上に乗った自動車(女川町)







石巻市社会福祉協議会主催
NPO法人 On the Road
この度、渡妻地区を中心に被災した
活動をさせて頂く事で、お礼の
ドロボのかき出し等のお礼、お礼の
撤去などお手伝いできる事が
お会に教えず、受付
よろしくお願ひ致します **15:00**まで



おじいさんの心とあれば、
なんでも声をかけて下さ。

NPO 法人

ON THE ROAD

災害支援
ボランティア









復興支援の大きな課題

1. 避難所を自らから出て行く被災者

精神障害者、知的障害者

授乳期の赤ちゃんや幼児・児童を持つ家族

(福祉避難所に入れない人々)

2. 立派過ぎる仮設住宅(使用期限2年間)

基礎がコンクリートなら優良賃貸住宅

一棟500万円×5万棟

= 2500億円使い捨て

3. 過度の支援

・自立心を損なわせる

(復興支援の難しさ)



家族の意味を再考させた「震災」

「家や車は、また買えばいい。でも、家族は売っていない。」

(南三陸町で妻と母を失い、1人になった62歳の男性)

国民的体験が自己防衛:「無縁社会」から脱却:

結婚指輪の売り上げ:前年の4割増

結婚相談所の成婚退会者:前年の4割増

「夫は外で働き妻は主婦業に専念すべき」

と考える既婚女性:上昇に転じ45%。(4%増加)

(特に20代:47.9%:12.2%増加)

相互扶助の柱は「家族のきずな」

- **全避難者数：10万1千人（6月2日時点）**

公民館・学校：約4万人

旅館・ホテル：約2万8千人

親族・知人宅：3万25百人（約3割）

- **福島県富岡町の避難者：1万5480人**

町の公共施設への避難者：1616人

全体の1割

多くが子ども・兄弟など親族のもとへ避難

相互扶助の柱は「家族のきずな」

- ・岩手、宮城、福島震災孤児：18歳未満
206人：ほとんどが三親等以内の親族
（「決め手」は家族の絆）

・地域のきずな

石巻市小湊浜地区：約150戸の漁村
（8割が津波で全壊）

18の個人宅：300名の住民と協同生活

「地域の絆」の核となるものは
家族という最小の共同体

家族の再生

(単身世帯の急増、無縁社会、孤立)

個人優先主義：家族の弱体化

(社会制度や仕組み：「家族」から「個人」へ)

介護保険制度、夫婦別姓導入、男女共同参画

配偶者控除廃止 = 危険な動き

3組に1組が離婚、年4万4千人が児童虐待

無縁死が年3万2千人 現役世代：全体の4割

生活保護世帯が200万人：地方の財源が25%

社会政策の軸足を「個人」から「家族」へ

家族の再生

(三世代同居・近居が日本を救う)

- ・ **全国学力調査**: **トップは秋田、福井、富山**
三世代同居が多い = 持ち家率が高い
経済的余裕。家事の担い手。
出生率が高い。
子どもの情緒面(安心感)学力への効果。
孫の力が祖父母を元気にする。価値観の
継承。児童虐待の発生が少ない。
- ・ **中山間地域**: (高齡化、限界集落の増加)
生命再生産の基盤: 家族が基本



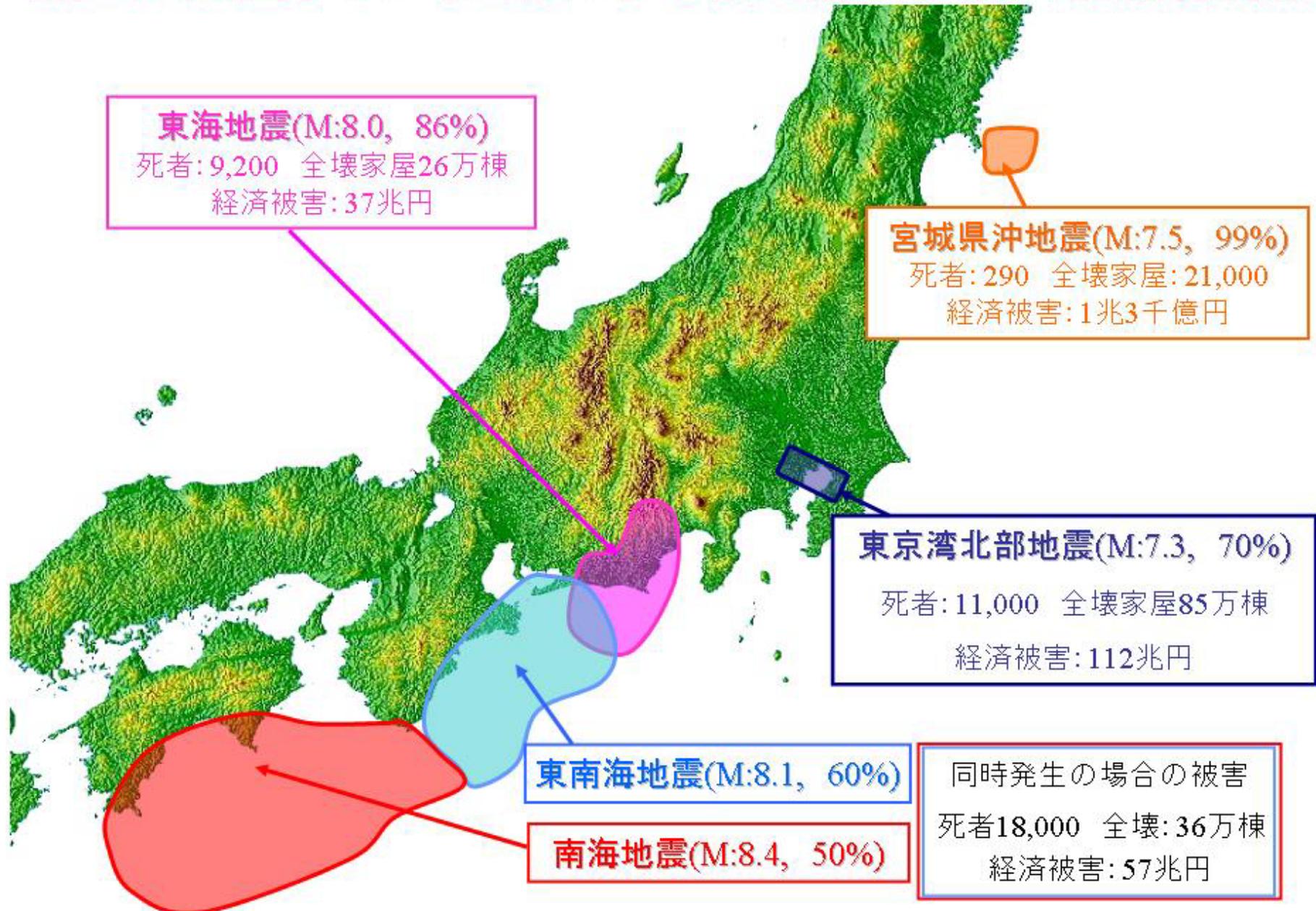
上：昭和21年南海地震後の高知市の様子

下：現在の高知市（五台山より）

（高知大学理学部：岡村教授のHPより）

東日本大震災の被災地は必ず、よみがえる

発生が逼迫しているとされる地震と被害予測(中央防災会議)









7月15日 東京都庁で復興支援ハウスの展示会を実施



衆議院議員の河村先生、山口大学教授の三浦先生



元総理の安倍先生、小林先生、都知事の石原さん





国際見本市「JECアジア2011」(シンガポール)に特別招待



第6回マニフェスト大賞：優秀賞受賞（北川正恭さんと）



自民党会派分裂：9名で「自由民主党新生会」結成



山口県監査委員を拝命(塩満県議と)



山口国体：「ソフトボール競技」「スポーツチャンバラ競技」
全国障害者スポーツ大会：「グランドソフトボール競技」

3月議会一般質問

3月6日(火)
午前10時45分～

質問内容

教育問題(学力向上)

公共事業のあり方

中山間地域定住策

傍聴を希望される方は、
後日送らせて頂くご案内に
て、お申し込み下さい。

知事を表敬訪問
送迎バスをご用意し
ています。

